

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>進行：横山会長</p> <p>那須総合計画主幹</p>	<p>定刻になりましたので、第3回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催します。</p> <p>事務局から、美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案ができあがったということで、事前に推進委員の皆さまに配布されております。本日お持ちいただいていると思いますが、皆さまお持ちでしょうか？</p> <p>では、事務局から、美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の説明と、その内容について皆さまの意見をお聞きしたいということですので、よろしくをお願いします。</p> <p>早速議事に入りますが、次第の2番、「美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。 今年4月から策定を進めて参りました「美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、素案が完成しましたので、内容について説明させていただきます。</p> <p>まず、冊子の構成についてですが、表紙をめくっていただいて、「はじめに」をご覧ください。</p> <p>「本書の構成」として図を掲載していますが、まず、「美幌町人口ビジョン」がありまして、ここで、人口の現状分析と将来展望を行い、2040年の人口目標値を提示しています。</p> <p>そして、その目標値の実現に向けて、人口減少を食い止めるための今後5年間の施策を記載した「美幌版総合戦略」があります。 このように2部構成となっています。</p> <p>次のページにいきまして、目次をごらんください。</p> <p>「人口ビジョン」では、「Ⅰ人口の現状分析」と「Ⅱ人口の将来展望」で、大きく2つに分かれています。</p> <p>「Ⅰ人口の現状分析」においては、1ページから15ページまでは、美幌町がこれまで歩んできた人口動態が、様々な角度から分析されています。骨子において概要は示してありますので、詳細な説明は省略させていただきますが、6ページをご覧ください。</p> <p>自然増減に関する現状でして、(1)では合計特殊出生率の推移と道内・全国との比較のグラフを示しています。</p> <p>当町は、現在1.64となっておりまして、ご覧のとおり、管内でも高い出生率となっています。</p> <p>しかし、次のページの(2)をご覧くださいと、2004年（平成16年）から出生数より死亡数の方が多い状態、つまり自然減の状態が続いていることが分かります。</p> <p>次に、その下にある「4社会増減」に関する推移を見ますと、1994年（平成6年）からずっと転出数が転入数を上回る状態、つまり社会減の状態が続いていることが分かります。</p> <p>さらに、次のページ、8ページをご覧ください。</p> <p>過去3年間の社会増減の状況を合計し、男女別及び年齢別で示したものです。社会減の中でも、特に「15～19歳」及び「20～24歳」の若年層が大幅に減少しています。ちょうど、高校や大学進学、そして就職する時期の年代において、転出が激しい状況となっています。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
那須総合計画主幹	<p>次の9～10ページは地域別の移動状況を、11～14ページでは就業別の移動状況を掲載しています。</p> <p>15ページをご覧ください。</p> <p>ここでは、「通勤・通学による流入出状況」を掲載しています。</p> <p>当初は、通勤と通学を合わせたグラフにしていたのですが、前回会議で城委員や吉江委員からご意見をいただいて、通勤と通学を分けて掲載しました。</p> <p>また、結婚時に美幌町に転入する人についてもご質問をいただいている、色々と調べたのですが、婚姻届を出す前に転入してきた人などがいるため、正確な数が出せないことから、グラフ化はしておりませんので、ご了承くださいと思います。</p> <p>これを見ますと、町外の人が美幌町内に働きに来る人数よりも、美幌町民が町外に出て働く人の方が、636人多いことが分かります。</p> <p>別の見方をしますと、町外に働きに出ている人は、なんらかの好条件があれば、町外に引っ越す可能性がある人たちであり、反対に町外から美幌町内に働きに来ている人は、町内に定住する可能性を持った人たちであるとも分析できます。</p> <p>このような人口分析を通して、美幌町の人口減少が進行している現状を示しています。</p> <p>次に将来推計の分析に入ります。</p> <p>17ページをご覧ください。</p> <p>「2将来人口の推計と分析」として、2パターンの推計値を掲載しています。</p> <p>一つは、赤い線で示してあります「パターン1」をご覧ください。</p> <p>これは骨子において何度か説明させていただいていますが、過去の移動実績を元に推計した、人口減少対策をなにも取らなかった場合の推計です。</p> <p>「パターン2」は、社人研が公表している推計でして、社人研では人口移動が即座に半減するという仮定を用いていますので、その推計結果に差が出ています。</p> <p>19ページをご覧ください。</p> <p>パターン1を基礎として、2つのシミュレーションを行っております。</p> <p>シミュレーション1では、出生率のみを上昇させた推計で、2040年にはパターン1から428人の人口減少が緩和されています。</p> <p>これは、自然増だけの効果ということになります。</p> <p>続いてシミュレーション2では、出生率の上昇に加えて、移動率を少し改善させたものとなっていて、パターン1より1,965人、シミュレーション1より1,537人の人口減少が緩和されています。</p> <p>これは、自然増に加え、社会増の効果が加算されると、さらに効果が高いこと、また人口減少には社会増減の影響が大きいことが分かります。</p> <p>その効果ですが、21ページをご覧ください。</p> <p>パターン1、シミュレーション1及びシミュレーション2の数値を比較しています。</p> <p>その一番下の表をご覧ください。</p> <p>何も対策を取らなかった場合の推計であるパターン1と比べて、どのくらい人口減少が緩和されるのかを数値化したものです。</p> <p>シミュレーション1、つまり出生率のみ上昇した場合では、人口減少の</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
那須総合計画主幹	<p>緩和効果は4.4%となっています。</p> <p>そして出生率の向上に人口移動を少し緩和させたシミュレーション2では、その効果が20%と大きく上がることが分かります。</p> <p>それら踏まえて、将来展望を行ったのですが、25ページをご覧ください。</p> <p>「3目指す姿とその実現に向けた方向性」として、3つの方向性を決めました。</p> <p>「(1)地域の資源や特性を活かし、生き生きと働くことの出来る就業の場の確保」として、「まち・ひと・しごと」の名称に倣い、「しごと」にスポットを当てた方向性を記載しています。</p> <p>次に「(2)結婚・出産の希望の実現と地域全体による子育ての環境づくり」では、おもに「ひと」に関係したこととして、結婚や出産などについて記載しています。</p> <p>3つめの「将来にわたって暮らし続けることのできる生活環境の確保」においては、「ひと」と「まち」に関係したこととして、地元で育った人たちの定着など、地域環境の向上について記載しています。ここでは、「自分たちの子どもに、将来住み続けて欲しいと思える環境づくり」という文言を入れていますが、これは前回会議で水島副会長が発言された内容から引用させていただきました。</p> <p>これら方向性においては、若年層の転出が激しいという分析結果から、「若い世代」や「子育て世代」などの言葉を入れて、主に若年層への支援を表現してみました。</p> <p>続いて、26ページをご覧ください。</p> <p>人口ビジョンの最後のところとなりますが、「人口の将来展望」として、分析結果や推計結果、方向性などを踏まえて、2040年の人口目標値を「14,500人」にしますと記載しています。</p> <p>以上が、美幌町人口ビジョンの内容となっています。</p>
森久保総合戦略担当主査	<p>次の第2章の「美幌版総合戦略」については、私の方から説明させていただきます。</p> <p>27ページから31ページまでは、基本的な考え方として、戦略の推進体制やPDCAサイクルの構築など、骨子でお伝えしてある内容ですので、説明を省略させていただきます。</p> <p>32ページをご覧ください。</p> <p>ここからが戦略の内容となっています。</p> <p>数値目標は前回の本部会議で説明し、了承をいただいていますので、そこは飛ばしまして、その下にある「具体的な施策と重要業績評価指標」の構成について説明させていただきます。</p> <p>総合戦略の作り方として、一つの施策に一つ以上の重要業績評価指標、いわゆるKPIを設定することが求められています。</p> <p>KPIとは、目標の達成度合いを検証できる、客観的な指標のことです。</p> <p>そしてその施策の下には、いくつかの事業がぶら下がる作りとしています。</p> <p>一つの施策に一つの事業とすると、多くのKPIを設定する必要が出てきますし、逆に一つの施策に事業を多く入れすぎると、設定するKPIの指標が難しくなってしまうため、今回そのバランスと今後の検証がしやすいものというのを考えて、指標を設定しました。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
吉江委員	<p>総合戦略の関係ですが、施策と施策内容と主な事業とあります。主な事業のところ、いくつか事業名が上がっていますが、例えば農業のところ、新規就農者確保・育成等総合支援事業、地域しごと支援事業とあり、その指標が新規就農者数15名となっています。ですが、何のことなのか分からない。この部分を、委員の皆さまや住民の方々は知りたいのだろうと思います。</p>
那須総合計画主幹	<p>ここに掲載してある事業は主な事業でして、全てを載せているわけではありません。作りとしては、これが総合戦略となりまして、この下に具体的な事業や実施時期、金額などを入れた「アクションプラン」というものを、この後から10月までに策定する予定になっています。そのため、主な事業としていくつか掲載して参考としているところです。</p>
森久保総合戦略担当主査	<p>内容としましては、施策内容に記載してあるものに沿った事業を掲載しています。事業内容を直接表したものではありませんが、施策に記載してあることを推進するために主な事業としていくつかぶら下げているという作りになっています。</p>
岸田委員	<p>作りは分かります。大前提があって枝葉があって、というのは理解していますが、我々が知りたいのは、具体的な方法論です。大前提はこの形でいいのですが、実際に事業が始まったときに、誰がどのようにどうやってやるのだろう、というのがイメージできない。前回お休みしたので把握し切れていないところがあるかもしれませんが、経済的なものとか物流的なものとか、グローバル的な視野が全く含まれていないのかなとか、いろいろ疑問がある。また小・中学校という言葉は出てくるが、高校という言葉が残念ながら出てきません。また、高校には農業科があり、農業の担い手育成の面を持っているにもかかわらず、農業の施策にも出てこない。そういった美幌町の複合的な考え方を頭に入れながら、議論していくことが大事ではないのかなと思う。この素案がどうのということはないのですが、これからの時代を見据えたときに、例えば観光業を考えたときに、外国人は無視できない相手であるのに、そういった部分が一切ない。また、国際的な部分では、本町と姉妹都市であるケンブリッジとは、あと2年で20周年を迎えます。でも町民は知りませんという現実がある。ですから、そういった部分を掘り下げて分かりやすくしてもらいたいと思います。これからの時間では足りないので上手いかわからないかもしれませんが、具体的な方策はどうあるべきかと言うことを、常に頭に入れてやっていかないと、絵に描いた餅になってしまって、実践は後回しになってしまうと思います。</p>
吉江委員	<p>前回、事後報告になってしまうものが出てくると聞いてはいますが、だからこそ、こうした文書的なものは私たちはあまり重要視していない。それこそこの部分を端折っていいのではないかと思います。要は、最初の会議で言っていたように、もっとざっくりばらんに話せる会</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
吉江委員	<p>にしようということで始まったはずですが、もっと具体的な感じにしたほうが、私はいいと思う。</p> <p>これが1年前に出る文書であれば、問題ないと思います。けれども、これが10月に申請しなくてはならない、またそれが美幌新聞に出て、国からは半分しかもらえないという中で、どれだけ出来るのか疑問に思う。</p> <p>ですので、なおさら具体的に、はじめからよーいどんでやった方が良かったのではないかと。</p>
横山会長	<p>皆さまのお手元にも、美幌新聞の記事がございますが、今年は前回お話しいただいたとおり、100%国からの補助でできたとしても、では、来年度以降どうなるのかというときに、31年度までの戦略を出しても、物事がこのまま進むのか、と皆さまが疑問に思っているところだと思います。</p> <p>それと同時に、誰がやるのかとか状況が見えない中で素案を見せられて、皆さまどうですかと言われても、なかなか了承しづらい部分であろうかと思えます。</p>
那須総合計画主幹	<p>当初からお話しさせていただいたとおり、上乘せ交付金の関係がありまして、10月末までに策定をすることが要件ということで、進めてきた経緯があります。そのため、10月末の策定は、改訂がその後やるということを見据えて、既存事業を主なものとして進めてきた次第です。</p> <p>先日美幌新聞で出された記事では、少し誤解を招く表現がありまして、「完成前に見直しが必須だ」と記載されていますが、10月末に策定したのちに、改訂作業をしたいと考えています。</p> <p>その改訂作業において、委員の皆さまが今おっしゃっているような意見交換の場を設けて、28年度以降の戦略に反映をさせていただきたいと考えているところです。</p> <p>そのため、今お示ししている素案の内容が、今後5年間の戦略として確定というわけではありませんということを、皆さまには押さえていただきたいと思えます。</p>
広島総務部長	<p>第2回目の会議の際にもお話しさせていただきましたが、2つのタイプの事業の申請に当たって、10月末までに戦略策定というのが条件なものですから、事業の洗い出しをプロジェクトチームで行ったのですけれども、これは100%国の交付金で実施できるという前提で行っていたため、そこから先には進んでいない状況です。</p> <p>この状況の中で、とりあえず10月末までのものとして了承をお願いしたいということをお伝えしておりました。</p> <p>そして戦略、それからその下に作る予定のアクションプランにつきましては、これが半額地方負担となりますと、取組内容の的を絞った中で、中身を練り直さないといけない。これにつきましては、推進委員の皆さま、また役場においても知恵を絞り検討していかなければならない部分です。</p> <p>28年度からの4年間の財源措置をどうするのかを含めて、考えていけないといけないので、今回のこれは当初版と考えていただきたい。今後皆さまに考えていただく2次版が、本当の28年度からの事業、戦略となってきますので、そのときには、具体的な内容、財政措置、だれがやるのかといったことを考えていくこととなります。ある意味ゼロからのスタートとなりますので、委員の皆さまのお知恵をお借りしたいと思っています。</p> <p>今後、考え方について変えていかなければならないので、そこはご理解をいただきたいと思えます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
吉江委員	では、次回なり申請後なりに、事業についての具体的な部分ができる、やれると考えていいのでしょうか。
広島総務部長	そうです。
岸田委員	基準はこの素案であるけれども、そこから新たなものを考えることが出来るということでしょうか。
那須総合計画主幹	そうです。
広島総務部長	いろいろな対策を考えながら、どういった形でお知恵を借りればいいのか、そこも皆さまと一緒に考えていきたいと思えます。同時に、財源を含めて検討していきたいと思っています。
横山会長	<p>ありがとうございます。また何かありました、後でご発言いただく時間を取りますので、次の議題について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>1から4までであるということで、一つの戦略ごとに区切ってご意見をいただきたいと思えます。</p>
森久保総合戦略担当主査	<p>重要業績評価指標（K P I）の設定についてということで、資料1をご覧ください。</p> <p>これは、推進委員の皆さまが行うP D C Aサイクルにおいて、その効果検証をする際に必要となってくる指標・数値となっています。また、今後皆さまと事業を考えていく際、なにを指標におくのか、といったこの設定内容も重要となってきますので、事業を考えていく際には、同時に検討をしていくところでもあります。</p> <p>資料1では、今回のK P Iの設定根拠について記載しています。</p> <p>前回の会議で数値目標を見ていただいたように、今回もこのK P Iについて、一つ一つご意見を伺いたいと思えます。</p> <p>留意事項ですが、目標年度は平成31年度です。</p> <p>重要業績評価指標（＝K P I）とは、目標の達成度合いを検証できる客観的な指標のことで、一つの施策に一つ以上の重要業績評価指標（＝K P I）を設定する必要があります。</p> <p>K P Iは原則として、施策のアウトカム（＝施策を行った結果として住民にもたらされる便益）に関する指標を設定する必要があります。</p> <p>アウトカムのK P Iが設定できない場合はアウトプット（＝行政活動そのものの結果）に関する指標でも差し支えありません。</p> <p>K P Iは、施策ごとに設定することになっていますが、施策にはいくつかの事業がぶら下がる作りとなっています。そのため、いくつかの事業効果の結果によってもたらされると想定される指標を設定しています。</p> <p>今回ぶら下がっている事業は、既存で行っている事業が中心となっています。</p> <p>基本戦略1つめの施策、「新規就農者数15名」となっていますが、主な事業として、新規就農者確保・育成等総合支援事業と地域しごと支援事業ということで、農業の担い手育成・強化、配偶者対策などが施策目的ですので、そこから指標を新規就農者としました。</p> <p>15名としたのは、農家子弟の新規農業従事者が毎年一定数いるという</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保総合戦略担当 主査	<p>ことから、それを準用し、年平均3年、それを5年間で15名としました。</p> <p>次のページにいきまして、林業の施策ですが、1つ目の施策「森林資源の高付加価値化による経営安定」ということで、この指標は「認証材の出荷量」としております。</p> <p>国際認証であるFSC®の取得を続けており、今後もその認証材の普及に力を入れていく方針であります。</p> <p>ぶら下がっている事業としましても、認証材を使用した事業者に対し補助する内容となっておりまして、出荷量を「6,000立方」としています。</p> <p>これは、町の最上位計画である総合計画における林業の数値目標に準じて決定しております。</p> <p>次の施策「木育の推進による基幹産業の育成」施策の目的として、小さい頃から木と親しみ、木を身近に感じてもらうことで、将来的な普及と林業への理解につなげ、産業を活性化することにあります。</p> <p>そして、美幌駅に隣接する「林業館」に、今年10月に木育ひろばがオープンすること、することから、木育の効果が客観的に分かる指標として、「木育ひろば利用者数」を設定しました。</p> <p>数値ですが、子どもの対象年齢を1～7歳として想定し、その人数から設定しました。その対象年齢者が約1,000人。そのうち500人が来場するとして、付き添いの保護者が1人で500人。その人方が5回来ると想定して、それが5年間とすると、25,000人と設定しております。</p> <p>続いて3ページ目をご覧ください。</p> <p>観光業の分類ですが、施策としては「特産品開発等支援による地域力の強化」として、施策の目的として、主に特産品を支援する内容で、観光客等への売り込みを強化し、経済の活性化を図るものです。</p> <p>「パッケージデザイン支援事業」では、既存若しくは新規の特産品について、目に付くような、特色のあるパッケージにすることで、売上増加を図るものとなっており、これは既存の事業ではなく、次回以降できたらいいなという候補事業となっております。</p> <p>そして、客観的に判断しやすい指標として、特産品の開発件数を設定しました。</p> <p>件数は3件で、仮置きとしていますが、これでほぼ決まりとなります。</p> <p>次の施策ですが、「地域資源を活かした滞留型観光の推進」町の取組方針として、滞在型観光を推進するものであり、観光における全般的な振興と空港への利便性を向上する取組を行うことで、観光客の入り込み増加を図るものとして、設定しました。また、総合計画における観光の指標に準じています。数値も同様です。</p> <p>次の4ページ、商工業の振興という分類ですが、「きめ細かな創業支援」では、「起業家件数15件」設定しています。</p> <p>これは前回、「元気な起業家応援事業」は、タイプⅡの事業として申請している旨、お話しさせていただきましたが、人気が高い事業となっております。経済の活性化にもなりますし、人の呼び込みにもなることから、続けていきたい事業の一つと考えています。</p> <p>「15件」という数値ですが、現在までに6件の申し込みがありまして、初年度は新規だったため注目度高く多くなりましたが、今後は、町内の空</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保総合戦略担当 主査	<p>き店舗・空き家との調整もありますが、年平均2～3件の起業・創業に取り組むとして、31年度までに15件として設定しました。</p> <p>その下にある施策は、再掲ですので、主たる戦略の方でお話しさせていただきますので、省略します。</p> <p>基本戦略1におけるKPIは以上です。一旦ここで区切らせていただきます。 よろしくをお願いします。</p>
横山会長	<p>今の内容について、ご質問・ご意見ありませんか。</p>
城委員	<p>なぜこれはKPIという、わざわざ分かりにくい横文字を使うのですかね。単純に目標数値では駄目なのか。 今後、パブリックコメントを出すに当たって、住民には分からないと思います。</p>
広島総務部長	<p>確かに分かりづらいと思います。KPIという言葉を使う場合は、細かな注釈を入れさせていただく。</p>
那須総合計画主幹	<p>29ページに、一応KPIの説明を入れておりますが、分かりやすいような工夫をしようと思います。</p>
横山会長	<p>はい、お願いします。そのほかありませんか。</p>
端委員	<p>木育ひろばは、無料の施設になるのですか。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>はい、無料です。</p>
端委員	<p>無料であれば、もっと人数が増えるのではないかなと思いますが。利用する人としらない人は明確に別れるものではありませんが、それでも少ないと感じます。</p>
広島総務部長	<p>オープンが10月ということと、同じような施設が北見と津別にあるということもあり、どの程度の集客が見込めるのか未知数です。周辺の市町村を含めない予想なので、低めかもしれません。本音としては、もっと利用してもらいたい。</p>
石川委員	<p>森林認証材の出荷量が6,000立方となっておりますが、ずいぶん少ない数字だと思います。 東京オリンピックでは認証材が使用されるという話もありますし、これから認証材の出荷量を伸ばしていかなければならないと思っているのですが、6,000立方ですと面積にすると10haぐらいしかない。 今現在美幌町では、200ha以上の伐採をしているのですが、それから比べると少ないのかなと感じる。</p>
横山会長	<p>総合計画と同じ数値だと伺ったが。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	そうです。平成26年度の認証材の出荷量が、ここには記載されていませんが、3,756m ³ という実績でして、それを31年度に約1.8倍の6,000m ³ とするものです。
城委員	これは単年度か。
広島総務部長	そうです。
城委員	その他のものも全てそうか。
森久保総合戦略担当 主査	5年間累計の目標もあります。 分かりづらいため、標記を工夫します。
石川委員	では、この6,000立方は単年度ですか。
広島総務部長	そうです。31年度単年度で6,000立方という目標です。標記の仕方を分かりやすいように工夫します。
野村戦略策定支援担 当部長	それに加えて、一言。 単位が「立方」とありますが、「m」を入れてきちんとした単位に修正した方がいいのと、現状と比較をした方が、目標として分かりやすいので、その直近の数値を入れた方がいいと思います。北海道でもそのような作りをしています。 その現状値を標記して、そこから31年度までにどこまで持って行くのかを標記した方がわかりやすいと思います。 まったく新規のものについては、31年度に履行しますという標記で問題ないと思います。
森久保総合戦略担当 主査	実績は全て取っていますので、そのように標記します。
横山会長	今ご指摘あったように、住民にとって分かりやすいものに修正をお願いしたいと思います。 では、次の説明をお願いします。
森久保総合戦略担当 主査	次の基本戦略として、5ページ「「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す」ですが、「移住の推進」として、今年度、町所有の教職員住宅を移住体験者住宅に改築しています。これは年度当初に配分された地方創生の交付金を使って改築したものでして、既に運用が開始されているため、移住体験者数として設定しました。 数値を「30人」と設定していますが、これは5年間の数値となっています。 移住体験者用住宅が、現在1軒しかないこと、また移住の意向を持っている人向けということで、数週間から数ヶ月単位の利用期間を設定していることから、季候の良い無雪期に、ご夫婦2人が年3組来ると想定し、30人としました。 次に、「政府関係機関の誘致」という施策ですが、これについては新聞などでご存じの方がいらっしゃると思います。政府機関の移転について、国の方から照会がありまして、当町は現在4件申請しています。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保総合戦略担当 主査	<p>実現にはとても難しいことは重々承知しているのですが、総合戦略に掲載するというのがその要件の一つでありますので、望みは薄いですが、施策として単独で設定しています。</p> <p>また、その他に当町は自衛隊を持っていますので、その増強に関する陳情はこれからも続けていくことを考慮に入れています。</p> <p>件数は1件と見込んでいます。</p> <p>基本戦略2での説明は以上です。</p>
横山会長	はい、ご意見ある方、いらっしゃいませんか。
広島総務部長	<p>今説明した政府関係機関の誘致について、当町は4件申請していましたが、北海道から、国には挙げない旨の話はされている状況で、既に結果は出ているものです。しかし、この戦略は5カ年の計画で、今後この話はないということであれば、これは落とさざるを得ないかなと思っています。</p> <p>自衛隊の増強を含めて記載しているとはいえ、そこらへんの状況はどうなのでしょう。国の機関移転の話は今回限りなのでしょう。</p>
野村戦略策定支援担 当部長	それについては、オフィシャルに公表された話はありません。想定問答の一つに、今回の動きを見て、今後も考えるという表現がされているのにすぎないですが、全くのゼロでもない感じです。
広島総務部長	では、掲載しておいても、それほど問題のあるものではないと。
野村戦略策定支援担 当部長	そうですね。
横山会長	移住の関係で、今回教職員住宅を改築したものと、みどりの村を合わせて30人という考えでしょうか。
森久保総合戦略担当 主査	みどりの村はこの数値根拠には含まれていません。年度当初に配分された地方創生の交付金で作った体験住宅のみで、その効果を見るための設定となっています。
横山会長	では、今後このような体験住宅が他に建築というか、私自身も聞いている話ですが、住宅を使って欲しいという投げかけが町の方にあると把握していますが、そうなった場合は、新たに修正するという考え方でいいでしょうか。
森久保総合戦略担当 主査	はい、そうです。今後、こうした体験住宅の要望が高まり、何件か建てるとなりましたら、このKPIは変えていく必要があると思います。その見直しを含めて、皆さまにお願いしたい部分でもあります。
横山会長	<p>分かりました。</p> <p>では次の3つめをお願いします。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>3つめの基本戦略ですが、子育て関係の箇所になります。</p> <p>1つ目の施策「婚活総合支援」とありますが、KPIを「事業を通じた成婚数2組」としています。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保総合戦略担当 主査	<p>平成27年度にオホーツクで婚活ネットワークが形成されたこと、またみらい農業センターで結婚相談員を抱えていることから、成婚に結びつくものがあると考え、評価しやすい指標として成婚数としました。</p> <p>数値ですが、事業実施～交際～婚姻の期間を考えると、28年度から31年度の4年間で、2組程度と考えました。</p> <p>次の7ページ、「妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援」として、そのKPIが「子育て環境や支援に対する満足度70%」としています。ここは、下にある「子ども・子育て支援の充実」と同じKPIを使用していますので、まとめてお話ししますが、こちらは満足度「67%」と設定しています。</p> <p>また、括弧書きで「就学前」と「小学生」で分けていますが、「就学前」としている施策では、妊娠から出産、そして乳幼児までの子育てに関する事業を想定しています。</p> <p>主な事業で出ていますのも、妊婦の一般健診に対する補助ですとか、保育料の軽減に関するものとなっています。</p> <p>「小学生」の方の施策「子ども・子育て支援の充実」では、放課後児童健全育成事業とか子育て世帯禁煙サポート補助事業など、ある程度大きくなったお子さん、未成年のお子さんをお持ちの方を対象とした事業を入れています。</p> <p>指標ですが、民生部において、「美幌町子ども・子育て支援事業計画」というものを策定してまして、計画期間が平成27～31年度であり、ちょうど総合戦略の計画期間と同じであるので、次期「子ども・子育て支援事業計画」を策定する際に、同様のアンケート調査を実施すると思ったため、客観的指標となり得ると思い、設定しました。</p> <p>数値ですが、平成26年度の数値は今後入れますが、そのアンケート結果から、それぞれ5ポイント上昇させる目的として設定しました。</p> <p>基本戦略3は以上です。</p>
横山会長	<p>今の箇所について、ご意見ありませんでしょうか。</p>
吉江委員	<p>「妊娠・出産」というと、最初の入り口はやはり産婦人科かなと思うのですが、その部分がないので、どうなのかなと思います。</p> <p>子どもを生むといふこの根っこの部分でありますので、入れておかないといけないのではないかなと思います。</p>
横山会長	<p>国保病院が今充実してきている中で、そこがないのが産婦人科という状態。そこを含めて、あるのかないのか、どうお考えなのでしょう。</p>
広島総務部長	<p>医師招聘活動は継続して行っていますので、その中に当然産婦人科医も含まれています。ですがなかなか見つからないのが現状で、また産婦人科医自体も減ってきているのが実情ですが、町としても固定医として招聘するのは大きな課題ですので、事業として記載することは可能ですので、検討させていただきます。</p>
吉江委員	<p>もう一つ、たいした話ではないのですが、婚活に関係した話として、テレビでインティナインがやってお見合い大作戦、北見で今回やったということで、あれを美幌でやれたらよかったかなと思います。田舎町でやることが多いので、うちでやれたらとても効果が上がったのになど。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
端委員	<p>あれば合併十周年として北見市が誘致したもので、あまりお金をかけずに大きなことをやろうということで実行されたものです。</p>
吉江委員	<p>2番煎じでもいいし、この5年間のうちにできないかなと、少し思っています。</p>
広島総務部長	<p>当町で出来たらいいと思いますが、当町の青年がどれだけ来てくれるのか、そこの問題もありますね。というのも、最近では農業の青年でも、基本的にはかまわないでもらいたい、というスタンスになっています。農家青年の婚活活動はやっていますが、なかなか出てきてくれない。テレビなどではおもしろおかしく盛り上げてくれるのですが、適齢期の方や少し過ぎた方など、その対応は考える必要があると思っています。地道にやっていきたいと考えています。</p>
横山会長	<p>では、最後の4つめをお願いします。</p>
森久保総合戦略担当 主査	<p>8ページ目をご覧ください。</p> <p>1つ目の施策が、「地方における経済・生活圏の形成」ということで、27年度当初において、地方創生の交付金で実施している「がんばる商店街応援事業」という店舗リフォーム促進事業で設定されたK P Iを参考にしました。</p> <p>商店街の往来者数を増加させるというものですが、平成26年度と比較すれば、事業効果が見えやすいと思ひ、平成26年度比5%増加としました。</p> <p>次の施策「地域公共交通の充実」で、地域住民の足を確保するというものですが、上位計画であります総合計画において、「公共交通の充実」という項目があり、その指標を準用しました。</p> <p>年間37,000人という数値も、総合計画の数値を参考としました。</p> <p>次の9ページにいきまして、「地域コミュニティの活性化」ということで、住民参画のまちづくりを目的としています。そのため、活動件数を指標としました。また、行政主導とならないよう、住民参画ではなく、住民主体という言葉にしました。</p> <p>現在、「美幌町まちづくり活動奨励事業」というものを実施してしまして、その奨励実績が24年度と26年度に1件ずつありますので、それを参考にして、28年度から1件ずつとして、4件と決めました。</p> <p>最後の「地域力を活かした教育環境の整備」ということで、美幌町独自の教育環境が出来たらいいなというご意見が多くありましたので、ここに教育関係のものをまとめています。</p> <p>指標では、「町内小中学校の学校評価における児童アンケート」ということで、これは、町内5つの小中学校で、児童・保護者・職員に対して毎年アンケート調査を実施しているのですが、これを参考とし、「児童」のアンケートを指標として設定しました。</p> <p>数値は、平成26年度結果より全て上昇とおいたのですが、これは仮置きでして、担当課である教育委員会に確認中です。</p> <p>また、ここで小中学校となっていますが、教育のことですので、高校のことも今後入れていきたいと考えていますので、皆さまに検討をお願いします。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保総合戦略担当 主査	<p>たいところの一つと考えています。 K P I の説明は以上です。</p>
横山会長	<p>1 から 4 まで全ての基本戦略の説明がありましたが、全体を通して何かありますでしょうか。</p> <p>この K P I は、今後皆さまが事業を検討していく上で、設定するものでもありますので、ご理解いただきたいと思います。 では、レジュメの 4、今後についてということで、事務局より説明をお願いします。</p>
那須総合計画主幹	<p>今後についてということで、ここからは資料はありませんので、口頭でお話しさせていただきます。</p> <p>まず、レジュメにある「総合戦略の改訂について」ということで、以前からお伝えしていますように、10月末にこの創生総合戦略を策定しましたら、すぐに改訂作業に入ります。</p> <p>次年度の交付金が半額負担になるということを念頭に置きますと、厳しい財政状況の中、人口減少や住民にとって最も効果のあるもの、目玉となるものを厳選して実施する必要があると思います。</p> <p>そのため、今回の戦略では、庁内で組織してプロジェクトチームで考案した事業は、ほとんど掲載することが出来ませんでした。</p> <p>財政的な話し合いが出来ていない中、事業を掲載して町民が期待しても困ることから、今回掲載している事業は、ほとんどが既存事業となっています。一部プロジェクトチームで考えた新規事業も入っていますが、必ず既存事業とセットで掲載していますので、K P I の達成には影響がないような作りをしています。</p> <p>そして半額負担となりますと、地方創生の事業をやらない市町村も出てくると思います。逆に半額負担を出しても実施する市町村は非常に前向きなものを出してくると思いますので、当町も 28 年度からの 4 年間は、半額手出しをしても実施する目玉事業を作りたいと思っています。</p> <p>進め方についてはまだ検討中ですが、創生推進委員会の皆さまと検討を重ね、同時に実施を現実のものとするために、財政とも調整を進めていきたいと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>最後に、パブリックコメントですが、9月15日から10月14日の一ヶ月間で実施します。</p> <p>これらを経まして、10月末に創生総合戦略の決定・公表となります。</p> <p>その頃には、タイプⅠ及びタイプⅡの結果も分かりますので、連絡がありましたら皆さまにもお知らせします。</p> <p>以上です。 よろしくをお願いします。</p>
横山会長	<p>次回の会議については、いつやるのでしょうか。本日皆さまからご意見をいただいた内容を修正したものをもって、パブコメ前にもう一度やるのか、修正したものをとりあえずパブコメにかけて、その結果をもって会議をやるのか。</p>
竹下総合計画担当主査	<p>こちらで修正したものをパブリックコメントにかけさせていただいて、その後で皆さまにお知らせするという形にしたいのですが。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	では、パブコメの結果をもってから会議を開催するというので、10月14日以降に第4回目を開くということによろしいでしょうか。
広島総務部長	パブリックコメントで意見が出ましたら、それも同時にお示ししていきます。
那須総合計画主幹	同時に、次回会議の進め方についても、お示ししたいと思っています。
横山会長	では、そのような日程で進めていきますので、皆さまよろしくお願います。 本日はオブザーバーとして野村部長に来ていただいています。一言いただきたいと思います。
野村戦略策定支援担当部長	北海道の状況について説明させていただきます。昨日（8月31日）、素案が完成となりました。今後道議会にかけまして、それから決定となります。 内容としましては、総花的なもので、重点戦略と基本戦略がそれぞれあります。その他、振興局別の地域戦略を策定することになっていて、ボリュームとしては1ページくらいです。素案の中には、とりまとめの方向性だけしか書かれていませんので、案において記載されることとなります。 オホーツクの話としましては、農林水産業が基幹産業の地域ですので、美幌町でいうと農業、林業となります。 オホーツクは一次産業がとて強く、農業でいえば十勝に次いで全道2位、水産業では1位、林業は木材出荷額が全道1位となっています。しかし、食品加工業の付加価値率というのがあります。素材をどれくらい加工しているのか目安になる率ですが、全道で13位と下から2番目となっています。素材のまま売っているということになります。 それで、振興局としましては、強い農林水産業の経営の安定化、輸出を含めて力を付けていくことが一つ。 もう一つが、豊富な食材を使って、加工度合いを上げて高付加価値化で産業の振興を図ろうというもの。 3つ目が、オホーツクの自然や農林水産業を活かした観光による交流人口の増加という3本柱を考えています。 美幌町の戦略でいうと、農業の振興にパートナー対策が記載されていますし、食品加工の部分も特産品開発としてあります。また、起業家支援や交流人口増加の部分もありますし、今後改訂作業をされていくと思いますので、振興局としましても、策定段階だけでなく、実施段階においても、町と連携をしながら進めていきたいと思っていますので、よろしくお願います。
横山会長	皆さま、貴重なお時間をいただきありがとうございました。皆さまからいただいた意見は、今後事務局によりとりまとめ、9月15日からのパブリックコメントにかけていくこととなります。 10月14日以降の会議につきましても、改訂作業などにおいて、皆さまからの意見を賜る場面が出てきますので、よろしくお願います。 本日はお疲れ様でした。

了